

調布市長 長友 貴樹 殿

調布市教育長 大和田 正治 殿

2022年7月21日

日本共産党 調布市議団

岸本 直子

雨宮 幸男

武藤 千里

坂内 淳

## 第10次新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書

オミクロン株の亜系統であるB A.5による感染が急拡大し、東京都のモニタリング会議では、今の増加比が継続すれば7月27日の新規陽性者数（7日間平均）は5万人を超え、過去最高水準になるとされています。感染者が多くなれば、重症者も亡くなる方も多くなります。

調布市内でも7月7日に新規感染者数が100人を超えてから一週間で300人を超えました。小中学校の休校、乳幼児施設の休園なども相次いでいます。症状があっても発熱外来は患者であふれ、PCR検査が受けられない、医師に診察してもらえないといった市民が多く生まれています。

B A.5は、これまでのオミクロン株に比べて感染力が高く、免疫逃避性があるとされています。重症化しやすいのかどうかは明確なエビデンスはないとされていますが、重症化しやすい可能性があるという指摘もあり、緊張感を持った対応が必要です。

市内に保健所が無い自治体として苦慮されながら、新型コロナ感染症の早い時期から医師会などのご協力を得て、様々な取り組みをされてきたことを高く評価するとともに、以下、さらなる対策の強化を要望します。

### 記

- 1、症状のある人が確実にPCR検査を受けられ、医療機関とつながれるよう対策を講じること。  
また、国や東京都に体制強化を強く要望すること。
- 2、東京都に宿泊療養施設の設置、増設を求めること。また、調布市独自の設置も検討すること。
- 3、東京都に自宅療養者の困った時の相談窓口の拡充を求めること。また、調布市としての対策

を検討すること。

- 4、高齢者・障害者・子どもの施設、学校などにおいて、PCR等検査の定期的な実施を徹底するとともに、少なくとも週に1回のPCR検査ができるよう、国、東京都に強く要望すること。また調布市としての対策を講じること。
- 5、高齢者や基礎疾患を有する希望者に、抗原検査キットを無償配布すること。
- 6、小中学生、幼稚園・保育園児等の家庭に抗原検査キットを無償配布すること。
- 7、保育園や学童クラブの保育・育成の安定的提供を維持するために、体制確保のための補助を実施すること。
- 8、保育園などの休園により家庭で利用するベビーシッターへの補助を行うこと。
- 9、保育園などの感染防止対策として利用者が自主的に登園を自粛した場合には、第6波の際、世田谷区で実施したように、調布市として保育料返還の対策を講じること。
- 10、小学校の夏季休業中、学童クラブの完全防止対策として、体育館や図書室など学校施設の活用を促進すること。
- 11、ワクチン接種に関して、
  - ・未接種の方への接種のお知らせをすること。
  - ・学校の夏季休業期間を利用して小中、高校生がワクチンを接種しやすい体制をつくること。
  - ・働き盛り世代が積極的にワクチンを接種するよう、ワクチン接種の際の休業補償など、国として実施するよう要望すること。
  - ・国に対し、ワクチン接種後におきている有害事象について、原因の徹底究明、接種と賞状との因果関係の認定に至らなかった事例も含めた幅広い補償・救済を行うよう要請すること。
- 12、新型コロナウイルス感染症の後遺症に関して、相談窓口や医療機関の紹介、補償などの諸制度や手続き紹介など、市としての相談窓口を設置すること。国や東京都の対策強化を要望すること。
- 13、国民健康保険におけるコロナ感染による休業対策で、個人事業主・フリーランスに傷病手当を支給すること。

以上